
令和2年度

地方公共団体金融機構決算の概要

地方公共団体金融機構

令和2年度決算のポイント

◇ 経常利益は1,182億円で、前年度に比べ、108億円の減少
当期純利益は273億円で、前年度に比べ、16億円の増加

◇ 資産総額は貸付金等24兆8,576億円で、前年度末に比べ、5,109億円の増加
負債総額は債券等24兆5,169億円で、前年度末に比べ、4,941億円の増加
純資産総額は利益剰余金等3,406億円で、前年度末に比べ、167億円の増加

◇ 地方公共団体健全化基金は9,202億円で、前年度と同額
金利変動準備金は2兆2,000億円で、前年度と同額
公庫債権金利変動準備金は6,409億円で、前年度末に比べ、353億円の増加

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 令和2年度の**経常利益は1,182億円**で、前年度に比べ、108億円の減少(▲8.4%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を125億円上回ったこと等が要因
- ◇ **当期純利益は273億円**で、前年度に比べ、16億円の増加(+6.3%)。一般勘定の当期純利益が増加したことが要因

科 目	R2決算(A)	R1決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	2,599億円	2,897億円	▲298億円
貸 付 金 利 息	2,498億円	2,821億円	▲322億円
そ の 他	100億円	76億円	24億円
経 常 費 用	1,416億円	1,606億円	▲189億円
債 券 利 息	1,340億円	1,537億円	▲196億円
そ の 他	76億円	69億円	6億円
経 常 利 益	1,182億円	1,290億円	▲108億円
特 別 利 益	644億円	1,052億円	▲408億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	600億円	1,000億円	▲400億円
利差補てん積立金取崩額	44億円	52億円	▲8億円
特 別 損 失	1,553億円	2,085億円	▲532億円
固 定 資 産 処 分 損	—	0億円	▲0億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	953億円	1,085億円	▲132億円
国 庫 納 付 金	600億円	1,000億円	▲400億円
当 期 純 利 益	273億円	257億円	16億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

- ◇ 令和2年度の**経常利益は273億円**で、前年度に比べ、15億円の増加(+6.2%)。
健全化基金受入額が前年度より20億円増加したこと等が要因
- ◇ **当期純利益は273億円**で、前年度に比べ、16億円の増加(+6.3%)

科 目	R2決算(A)	R1決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,270億円	1,336億円	▲66億円
貸付金利息	1,166億円	1,257億円	▲90億円
余資運用益	0億円	0億円	0億円
金利スワップ受入利息	4億円	2億円	2億円
健全化基金受入額	90億円	69億円	20億円
その他	7億円	6億円	1億円
経 常 費 用	996億円	1,078億円	▲82億円
債券利息	866億円	949億円	▲83億円
借入金利息	5億円	4億円	0億円
金利スワップ支払利息	—	0億円	▲0億円
その他業務費用	36億円	26億円	9億円
営業経費	30億円	31億円	▲0億円
基金管理勘定繰出金	56億円	64億円	▲8億円
その他	1億円	1億円	0億円
経 常 利 益	273億円	257億円	15億円
特 別 利 益	—	—	—
特 別 損 失	—	0億円	▲0億円
固定資産処分損	—	0億円	▲0億円
当 期 純 利 益	273億円	257億円	16億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 令和2年度の**経常利益は908億円**で、前年度に比べ、124億円の減少(▲12.0%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を118億円上回ったこと等が要因
- ◇ 地方公共団体金融機構法等の規定に基づき、利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、令和2年度の当期純利益はゼロ

科 目	R2決算(A)	R1決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,389億円	1,629億円	▲240億円
貸付金利息	1,331億円	1,563億円	▲231億円
基金一般勘定繰入金	56億円	64億円	▲8億円
その他	1億円	1億円	▲0億円
経 常 費 用	480億円	596億円	▲116億円
債券利息	474億円	587億円	▲113億円
その他	6億円	8億円	▲2億円
経 常 利 益	908億円	1,032億円	▲124億円
特 別 利 益	644億円	1,052億円	▲408億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	600億円	1,000億円	▲400億円
利差補てん積立金取崩額	44億円	52億円	▲8億円
特 別 損 失	1,553億円	2,085億円	▲532億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	953億円	1,085億円	▲132億円
国庫納付金	600億円	1,000億円	▲400億円
当 期 純 利 益	—	—	—

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

◇ 令和2年度末現在の**資産総額は24兆8,576億円**で、前年度末に比べ、5,109億円の増加(+2.1%)。
現金預け金が前年度末に比べ、5,489億円増加したこと等が要因

科 目	令和2年度末現在(A) (R3.3.31)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	23兆1,443億円	23兆3,996億円	▲2,552億円
有 価 証 券	5,930億円	3,655億円	2,275億円
現 金 預 け 金	1兆1,064億円	5,574億円	5,489億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	32億円	123億円	▲91億円
そ の 他 資 産	69億円	78億円	▲9億円
有 形 固 定 資 産	26億円	27億円	▲1億円
無 形 固 定 資 産	9億円	10億円	▲1億円
合 計	24兆8,576億円	24兆3,467億円	5,109億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 令和2年度末現在の一般勘定における資産総額は19兆394億円で、前年度末に比べ、1兆4,557億円の増加(+8.3%)
- ◇ 令和2年度末現在の管理勘定における資産総額は6兆4,189億円で、前年度末に比べ、9,268億円の減少(▲12.6%)

	科 目	令和2年度末現在(A) (R3.3.31)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	17兆3,297億円	16兆6,408億円	6,889億円
	有 価 証 券	5,930億円	3,655億円	2,275億円
	現 金 預 け 金	1兆1,064億円	5,574億円	5,489億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	32億円	123億円	▲91億円
	そ の 他 資 産	33億円	36億円	▲3億円
	有 形 固 定 資 産	26億円	27億円	▲1億円
	無 形 固 定 資 産	9億円	10億円	▲1億円
	合 計	19兆394億円	17兆5,837億円	1兆4,557億円
管 理 勘 定	貸 付 金	5兆8,145億円	6兆7,587億円	▲9,441億円
	そ の 他 資 産	35億円	41億円	▲6億円
	一 般 勘 定 貸	6,008億円	5,828億円	179億円
	合 計	6兆4,189億円	7兆3,458億円	▲9,268億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 令和2年度末現在の**負債総額は24兆5,169億円**で、前年度末に比べ、4,941億円の増加(+2.1%)
- ◇ 負債の大半を占める債券は前年度末に比べ、3,973億円の増加。当期発行額が償還額を上回ったこと等が要因
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は、借換益等953億円を繰り入れた一方で、600億円の国庫納付を行った結果、前年度末に比べ、353億円の増加

科 目	令和2年度末現在(A) (R3.3.31)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
債 券	20兆4,107億円	20兆134億円	3,973億円
借 入 金	2,940億円	2,030億円	910億円
地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
公庫債権金利変動準備金	6,409億円	6,056億円	353億円
利差補てん積立金	127億円	171億円	▲44億円
金融商品等受入担保金	334億円	580億円	▲245億円
そ の 他	48億円	52億円	▲3億円
合 計	24兆5,169億円	24兆228億円	4,941億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 令和2年度末現在の一般勘定における負債総額は18兆7,566億円で、前年度末に比べ、1兆4,390億円の増加(+8.3%)
- ◇ 令和2年度末現在の管理勘定における負債総額は6兆3,611億円で、前年度末に比べ、9,268億円の減少(▲12.7%)

	科 目	令和2年度末現在(A) (R3.3.31)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	14兆7,061億円	13兆3,513億円	1兆3,547億円
	借 入 金	2,940億円	2,030億円	910億円
	地方公共団体健全化基金	9,202億円	9,202億円	—
	金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
	金融商品等受入担保金	334億円	580億円	▲245億円
	管理勘定借	6,008億円	5,828億円	179億円
	その他の	19億円	20億円	▲1億円
	合 計	18兆7,566億円	17兆3,176億円	1兆4,390億円
管 理 勘 定	債 券	5兆7,046億円	6兆6,620億円	▲9,574億円
	公庫債権金利変動準備金	6,409億円	6,056億円	353億円
	利差補てん積立金	127億円	171億円	▲44億円
	その他の負債	28億円	31億円	▲2億円
	合 計	6兆3,611億円	7兆2,880億円	▲9,268億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

- ◇ 令和2年度末現在の純資産総額は**3,406億円**で、前年度末に比べ、167億円の増加(+5.2%)
- ◇ 金利スワップ取引に係る評価損益等である繰延ヘッジ損益が前年度末から106億円減少した一方で、一般勘定の当期純利益273億円を積立金として計上したことが要因

科 目	令和2年度末現在(A) (R3.3.31)	令和元年度末現在(B) (R2.3.31)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	—
一般勘定積立金	2,657億円	2,383億円	273億円
管理勘定利益積立金	578億円	578億円	—
繰延ヘッジ損益	4億円	111億円	▲106億円 <small>(うち金利スワップ期中解約分 ▲100億円 うち繰延ヘッジ取崩分 ▲5億円)</small>
合 計	3,406億円	3,238億円	167億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考)

(単位:億円)

令和2年度決算における主要勘定の状況

【貸付金】

前期末高 残 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期末残高 ①+②-③
233,996	15,592	18,144	231,443

【債券】

前期末高 残 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期末残高 ①+②-③
200,134	24,688	20,715	204,107

【地方公共団体健全化基金】

前期末高 残 ①	納付金 ②	基金 運用益 ③	利下げ補てん 所要額 ④	一般勘定自己 財源充当額 ⑤	期末残高 ①+②+③ -(④-⑤)
9,202	90	73	226	62	9,202

【利差補てん積立金】

前期末高 残 ①	取崩額 ②	期末残高 ①-②
171	44	127

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末高 残 ①	国庫納付 ②	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ③	債券借換益 ④	期末残高 ①+②+③+④
金利変動準備金	22,000	—	—	— (注)	22,000
公庫債権金利変動準備金	6,056	▲600	56	896	6,409

(注) 一般勘定においても債券借換益は310億円発生しているものの、関係法令の規定に基づき算出した金利変動準備金の積立限度額(当該期末における一般勘定の貸付金残高の1,000分の125)を前期末残高が超えているため、積立てを行っていない。

※ 単位未満切り捨てのため、計が一致しない場合がある。